

令和2年10月1日

関係各位

筑波大学附属学校教育局
教育長 茂呂雄二
筑波大学附属坂戸高等学校
校長 田村 憲司

「第9回高校生国際ESDシンポジウム」および
「The 2nd SDGs Global Engagement Conference」
On-line Version 実施のお知らせ

涼風の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、下記の要領で「第9回高校生国際ESDシンポジウム」および「The 2nd SDGs Global Engagement Conference」を開催いたします。これまで、筑波大学東京キャンパスを会場に実施してきましたが、本年度はオンラインで開催いたします。コロナ禍のなか、全国の高等学校で、国際教育の運営にご苦労されていることと存じます。そのような折りですが、全国の皆さんと様々な困難の共有とともに、高校生の未来に向けた議論の場を提供できればと思います。ぜひ皆様にご参加していただきたく、ここにご案内申し上げます。

記

1. 目的

海外の高校生およびWWL校、SGH校、地域協働事業校等の生徒および教員等が集い、持続可能な社会づくりに向けた国際シンポジウムを開催することを通じて、参加者が持続可能な社会の実現を目指してグローバル課題に主体的に取り組む姿勢を涵養するとともに、グローバル人材としての資質を高める。

また、困難な状況にあっても、SDGsの達成に向けたアイデアの共有を行い、変革に向けた第一歩を踏み出す機会とする。

2. 大会メインテーマ

—The great transformation for 2030. 始めなければ、変わらない。—

3. 日時 令和2年10月31日(土) 9時50分～12時30分

4. 大会名称 「第9回高校生国際ESDシンポジウム」および「The 2nd SDGs Global Engagement Conference」
On-line Version

5. 対象 全国のWWL事業拠点校・共同実施校・連携校、SGH指定校、
地域協働事業指定校等の生徒および教員、教育関係者、SDGs関連団体等

6. 海外参加校(予定)

- ・インドネシア環境林業省附属高等学校(インドネシア)
- ・ボゴール農科大学附属コルニタ高等学校(インドネシア)
- ・インドネシア教育大学附属高等学校(インドネシア)
- ・カセサート大学附属高等学校(タイ)
- ・フィリピン大学附属ルーラル高等学校(フィリピン)

※オーストラリア、ネパールからも参加予定です。

7. 申し込み・参加方法

ZOOMによる開催になります。申し込みは以下にお問い合わせください。

問い合わせ先

筑波大学附属坂戸高等学校 〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田1-24-1

TEL 049-281-1541 FAX 049-283-8017

問い合わせ先：国際教育推進委員会およびWWL推進委員会委員長 建元 喜寿
email: tatemoto.yoshikaz.fm@un.tsukuba.ac.jp 直通電話 049-282-7205 (農業科)

8. 日程 (予定)

9 : 40 開場 (ZOOM への入室)	
9 : 50	主催者挨拶、及び注意事項について。
10 : 00 ~ 10 : 30	Keynote speech 東京都市大学大学院教授 佐藤真久氏
各分科会への移動 (ZOOM への入室)	
10 : 45 ~ 12 : 00	分科会 分科会ごとに ZOOM の ID を割り振りますので、各自で入室してください。
全体会への移動 (ZOOM への入室)	
12 : 15	Reflection and Closing session

・分科会 1 : Ethical 消費という観点 (facilitated by APPJ、日本エシカル推進協議会)

定員 : 約 20 名。エシカル消費に関するワークショップを開催します。株式会社アジアペーパーアンドパルプ社・日本エシカル推進協議会のファシリテートによる実施となります。

・分科会 2 : Changes in Asia—アジアから世界へ。変革と課題— (offered in English)

本校の海外連携校の高校生が、各国の COVID-19 の現状と、それにより変化したことについて発表します。発表を嚆矢として、アジア地域全体で求められる変化や課題について検討します。

・分科会 3 : Fieldwork—それでも現場に出るといふ視点—

筑波大学附属坂戸高校は、現場での学びやアクションを重視しています。しかしながら、COVID-19 により、校外でのアクションに制限がかかりました。この分科会では、海外でのフィールドワークを経験した本校卒業生たちによる「現場」での学び、そこから生まれた変化について参加者の皆さんと語りあいます。

・分科会 4 : オンライン口頭発表

コロナ禍であっても、調査研究を継続したり、ソーシャルアクションに取り組んだ高校生がいます。国内外の、高校生による研究・活動の成果を発表することによって、課題研究を通じた交流を図りたいと思います。英語 2 ルーム、日本語 2 ルーム設定の予定です。

・分科会 5 : COVID-19×SDGs : 筑波大坂戸 1 年 D 組+ネパール+オーストラリア

筑波大坂戸 1 年 D 組は、「総合的な学習の時間」を通じて、WWL 連携企業の、IC-NET 株式会社によるファシリテーションのもと、COVID-19 によって生じた社会課題について理解を深めてきました。海外校もまじえ、生徒による成果発表会を実施します。

★参加者の皆様には、どの分科会に参加するか、事前に登録していただきます。また、「分科会 4 : オンライン口頭発表」を希望する場合は、発表課題、言語 (日英) を事前に申告していただきます。なお、都合により、英語は 2 校、日本語は 6 校までとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

以上